



2019年5月吉日

森と海の自然科 活動案内 「川と街道を訪ねて-No.22」

大和川付け替え地点（築留地区）と旧大和川散策

（観察河川：大和川、長瀬川（旧大和川）、平野川、玉串川）

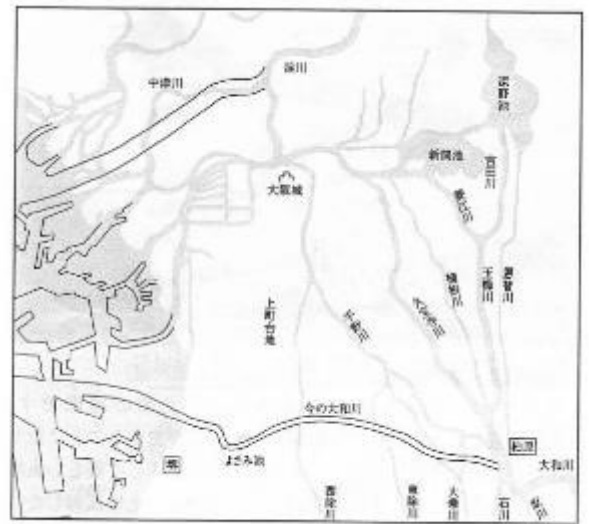
今年度は初めてのメンバーも多くなりましたので、2014年奈良盆地から始めた大和川シリーズのうち、面白かった地区を再度訪問、知見を深めたいと考えています。今回は大和川河川敷を観察した後、旧大和川付け替え地点（築留樋門、青地樋門）を確認、平野川と長瀬川（旧大和川）を歩きます。築留地区は2014年10月と2016年4月に見学しています。一部の方には再訪問となりますがご了承ください。

旧大和川の跡は長瀬川、玉串川などの川沿いのエリアで、旧大和川河川敷は新田として開発されました（先月会所跡を見学した鴻池新田や今回見学する安中新田など）。現在では旧大和川の痕跡は明確ではありませんが、地名の境界、井路、地形の高低差などで想像できるそうです。明治中頃の地図（次頁）では幅広い旧大和川の河川敷跡が読み取れます。築留地区の説明（築留土地改良区事務所）、安中新田会所跡の説明をお願いする予定です。

<里川担当G asano>

- 1：日 時 2019年6月13日（木） 10時集合
- 2：集合場所 近鉄大阪線安堂駅
- 3：持ち物 弁当、飲み物、雨具、暑さ対策 など
- 4：雨天判断 雨天決行
- 5：行 程 ：約5km

近鉄安堂駅 ⇒ 大和川河川敷 ⇒ 長瀬川への導流溝（取水口）⇒ 築留地区（治水記念公園・築留樋門）⇒ 青地樋門 ⇒ 平野川 ⇒ 長瀬川沿い散策（アクアロードかしわら）⇒ 柏原舟船溜まり場跡公園（弁当）⇒ 三田家 ⇒ 柏原神社 ⇒ 二俣地区（長瀬川と玉串川分岐点）⇒ JR志紀駅乗車⇒八尾駅下車 ⇒ 渋川神社 ⇒ 安中新田会所跡・旧植田家住宅見学 ⇒ JR八尾駅にて解散（16時頃）



- 長瀬川導流溝（取水口）：2014年10月にはバイカモらしい水草（白い花）が観察された
- 大和川治水公園：中甚兵衛の銅像
- 築留樋：灌漑用水路長瀬川の築留第二樋門はイギリス積の煉瓦、世界かんがい施設遺産に認定
- 青地樋門：平野川（河川）の導入樋門
- アクアロードかしわら：長瀬川沿いの遊歩道
柏原市が整備、巨大コイが棲息、パンくずなど歓迎
- 柏原舟船溜まり跡公園：弁当（雨なら志木駅近辺で食堂へ）
- 三田（さんだ）家：国の重要文化財、干鰯（ほしか）や油粕などの肥料の商いと柏原舟の営業をしていた地主の旧家。非公開
- 柏原神社：御祭神は宇迦之御魂神、元々は白髭大明神か
- 二俣：旧大和川が長瀬川と玉串川に分水。休憩所あり
- 渋川神社：元は旧大和川の東にあった。1533年の大洪水で流失、御旅所のあった現在地に再建。境内に大阪府天然記念物のクス（樹齢1000年）
- 安中新田会所跡・旧植田家住宅：安中（やすなか）新田は旧大和川河川敷に開発された新田の一つ。植田家が管理。江戸時代の景観を伝えている

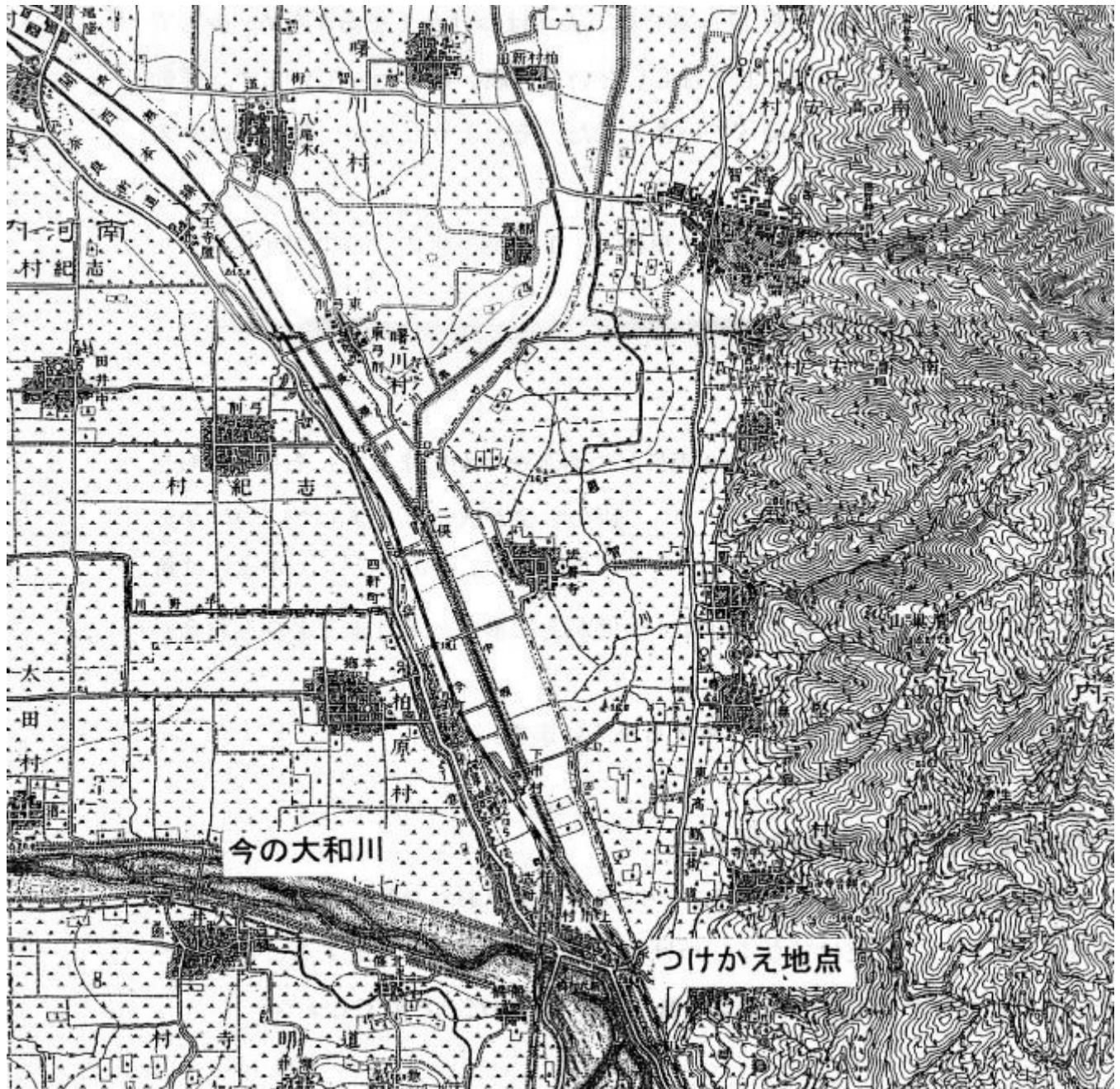
入場料：250 円（団体 20 名から 120 円）

森海科で補助の予定 20 名以上参加しましょう！

「明治 20 年頃の旧大和川河川敷周辺の地図」

下の地図は明治 20 年頃の陸測地図で旧大和川にあたる長瀬川があり、旧大和川の河川敷を利用して鉄道（関西本線）が通っています。

長瀬川は図の下部の「つけかえ地点（築留地区）」から北流、二俣地区で玉串川と別れて北西へ志紀村を經由して



流れています。この地図の左上隅が現在の八尾駅近辺（安中新田会所跡）になります。